Jan.-Feb., 2008

Newsletter of Kanto Branch of Servas Japan

SERVAS KANTO

Peace through cross-cultural understanding —
Open Doors in over 130 countries
http://www.servas-japan.org (日本サーバス)
http://www.servas.org (国際サーバス)

日本サーバス関東支部会報 2008年1月20 日発行

日本サーバス関東支部事務局

年会費 3000 円 郵便口座(Post Office Account No.): 日本サーバス関東支部事務局
(Nihon Servas Kanto Shibu Jimukyoku)

今号のトピックス

1. **2月例会のお知らせ(2月3日(日)5時半-7時半頃)**
2．旅行レポート（韓国、ニュージーランド）

例会のお知らせ

い つ:2月3日(日)17:30～19:30頃
★昼間の時間がとれずに時間が変更となりました。★
どこで: 大田区立生活センター 第5会議室
大田区蒲田5－13－26－101
国内会議での議題等を話し合いたいと思います。
JR 京浜東北線･東急多摩川線･東急池上線
JR蒲田駅東口から徒歩5分
大田区役所から川崎方向に300メートル
当日連絡先:

＊サーバス関東支部の事務局をお手伝いしてくれる方を募集しています。経理、会報発行、コーディネータ等の仕事があります。
＊国内会議が3月29、30日京都で開催されます。参加ご希望の方は、 に2月末までにご連絡ください。

忘年会及び例会の報告

い つ:12月16日(日)15:00～19:00 頃
どこで:宅
参加者:

(参加者名簿順)
忘年会だけ？は、いろいろ手作りの美味しいもの(BBQチキン、おでん、餃子、サラダ、大根餃子、シフォンケーキ、クッキー、卵焼きその他食べきれないほど)があるせいかたくさん人が集まります。
インターネットや手軽に安く海外旅行ができるようになった今、サーバスの今後は、意義は？といろいろ考えるべきことはありますが、自己紹介ほか、それぞれの交流を深めました。毎回参加してくださいとは言いませんが、たまには例会にご参加下さい！！

２００８年度ホストリスト
（2008 Japan Servas Host List）

前回お知らせした、２００８年度のホストリストの内容変更まだ受け付けています、遅くとも２月１０日までに 宛に上記記載の連絡先にお送り下さい。２００７年度の受入れホストについても、時期、国籍、性別等お知らせ下さい。
If you have not informed of the changes to be made for the Japan Servas Host List 2008, please inform me by email, facsimile or mail mentioned at the top of the newsletter **by February 10, 2008.**

年会費振込みのお願い

サーバスの年会費は 3000 円です。まだの方は 2008 年度分の会費を**１月末まで**にお振込み下さい。連絡なく２年会費の振込みのない場合は、退会とさせていただきますことをご了承下さい。

Servas Annual Fee

If you have not remitted the annual fee, please remit 3000 yen for the year 2008 to the post office account on the top of this newsletter by January 31, 2008.

ホストを探しています。誰か引き受けお願いします。

韓国の家族がホストを探しています。日時は2月18日、19日で東京での滞在先を捜しています。誰か引き受けていただけないでしょうか？引き受け可能な方は の さんに連絡して下さい。何人かにメールしたそうですが、返事がないとのことです。LOI受領済みです。ご連絡いただければ、お送りします。

I'm a Korean. I'm a Servas member in Korea. My name is . I'm a teacher who teaches students English in high school.

I live in Kangnung, Kangwon province which is located north-east in South Korea. My family is four - my wife, daughter, son including me. I have a plan to visit your country in Feb. 18 -23. 2008.

I am going to Kyushu and Tokyo. I will stay in Kyushu for 4 days and in Tokyo for 2 days. So I am looking for host in Kyushu and Tokyo. Of course I will go there with my family. I can't speak Japanese. I can speak English as foreign language.

前回の米国オレゴン州の 家のホストを引き受けていただいた方、ご協力ありがとうございました。Hills 家からもお礼のメールを受領しました。

サーバス旅行 韓国

10 月 30 日に羽田からGimpoへ、11 月 2 日に逆のルートで帰国しました。

最初にソールの 3 人の方にメールを送りました。その内、唯一、 さんから連絡がありました。

丁度、息子さんが資格試験の勉強中なので、Host ができないが、面倒を見てくれるという人を紹介しますとの事でした。

そして、 という方から連絡が来て、彼がそれ以降の面倒をみてくれました。

彼は1954年生まれで、独身で老いた母親の面倒をみている敬虔なクリスチャンでした。彼は、自分の教会が保有している宿泊施設を予約してくれました。そこは神父も住んでおり、いわゆる宿泊施設と礼拝堂が一緒になった大きな施設でした。大きなキッチンにはCookingに必要な設備や食料品が備え付けられており、いつでも自由に食事をとれる仕組みになっていました。

DMZと板門店へはバスツアーを使いました。と言うより、韓国の一般人はSecurity上、その地域には足を踏み入れることができないので、我々外国人だけがバスツアーで行くと言うことになります。

それ以外は全て さんが面倒をみてくれました。車で案内したり、地下鉄、バスで連れ回してくれました。

ニュージランド 南島への旅

調べ始めるとアウトドアーライフが好きな我々にとっては見逃す事のできない南島の魅力が一杯見えてきました、でも都合で休みが11日しかとれず、今回は駆け足の旅となりました。

計画を立てると2泊できるのは2箇所でホスト宅にお願いすることにし、後は1泊での移動をせざるを得ず、迷惑をかけない様にユースホステルに泊まりました。

クライストチャーチからテカポ、マウントクック、クイーンズタウン、ティアナウ、ダニーデン、クライストチャーチのルートをレンタカーで走ります。

初めのホスト宅は Hawea 湖畔の自宅でご主人が心療カウンセラーをし、お二人で家庭菜園を楽しむ

60 代の　　さん宅でした。家庭菜園は小生もやっているので意気投合で話が弾みます。女房は豆腐を渡され日本風な料理とのことでトーフステーキを作り、ワンダフル、奥さんは克明にレシピをノートされていました。

次のホスト宅はクライストチャーチです。裁判所で働いていたご主人と小学校の先生をしていた奥さん、60 代の　　さん宅です。ご主人は大の冒険好き、三歳の長女を背負ってアマゾンを旅したそうです。奥さんも一緒？と尋ねると、「とんでもない私は快適なリビングルームで過ごすのが好き」。

次の日、日曜日はクライストチャーチのサーバスミーティングに参加しました。勤労者センターにあるレストランの一角に30名ほどがお昼に集まり、NZ＄18 の会費を納めると生ビールジョッキやコーヒーカップ片手にあちこちで挨拶や紹介を 30 分位、そして席に着いて挙手での発言、現状報告やメールにはすぐ答えようなど話が出てました。そして我々に自己紹介を兼ね意見を求められたので魅力一杯の日本を是非訪れてくださいと勧めました。最後がビュッフェスタイルの食事で参考にしたくなる楽しい会でした。

一泊の所はB＆Bも良さそうでしたが全部ユースホステルにしました。話には聞いていましたが、YH の設備と雰囲気はとても素晴らしいです。ツインの個室、間口2mほどの中が見える冷蔵庫に袋に名前を書いたレーベルを張って保管、キッチンウエアはすべて揃い、清潔な布巾が山と積まれ、料理を作り始めるとお隣と会話がはずみます。

印象に残った風景は、羊、牛、鹿の牧場、マウントクック周辺のトレッキング、山頂での深夜の星の観察、洞窟内のグローワームで、もう一回駆け足でなく、じっくりと旅をしたい国です。

昨年度の報告から：「受入れを OK したのに 2 件直前キャンセルがあり不信感を持った。」「何年かぶりのホストの受入れで話がはずみ、サーバスの良さを体験できて嬉しかった。」「国内会議の議事録には感心したが、毎年沢山の費用をかけてする必要があるのか？活動報告等は郵便で済むのでは。」

近年 E-mail での連絡は便利な反面、一斉メールや気軽なキャンセル、ホストとトラベラー側でやりとりにずれが生じることも少なくないようです。何かいいアイディアはないでしょうか。　ご意見をお寄せ下さい。